

かうせうてんわう  
孝昭天皇、

いとくてい  
懿徳帝の子なり。

はく あまとよつ ひめくわうじつ  
母は天豊津媛皇后にして、

いとくてい  
懿徳帝の二十二年、

た くわうたいし  
立ちて皇太子となる。

三十四年九月、

いとくていほう  
懿徳帝崩ず。

めいねんきのとうし  
明年乙丑、

かのえうま  
十月十三日庚午、

いとくてんわう ほうむ  
懿徳天皇を葬る。

ぐわんねんひのえとら はる きのえうま  
元年丙寅、春正月九日甲午。

てんわう くらふ  
天皇、位に即く。

とき  
時に年三十一。

これ みまつひこか ゑしねのすめらみこと  
是を觀松彦香殖稻天皇となす。

つちとのとうじ  
夏四月五日己未、

くわうじつ たふと くわうたいごう い  
皇后を尊びて皇太后と曰ふ。

みやこ  
秋七月、都を掖上に遷し、

これ いけいさのみや  
是を池心宮と謂ふ。

二十九年甲午、  
きのえつま

春正月三日丙午、  
はるしがつ ひのえつま

世襲足媛を立て、皇后となす。  
よ そたらしひめ た くわうごう

六十八年癸酉、  
ねんみづのととり

春正月十四日庚子、  
はるしがつ かのえね

日本足彦國押人尊を立て、  
やまとたらしひこくに おしひたのみこと た

皇太子となす。  
くわうたいし

八十三年戊子、  
つちのえね

秋八月五日辛酉、  
あき かのととり

天皇崩ず。  
てんわうほう

年一百十四。  
とし

掖上博多山上陵に葬る。  
わきのかみのはかたのやまのつへのみささぎ ほつむ

追諡して  
つゐし

孝昭天皇と曰ふ。  
かうせうてんわう い